

桔梗が丘中学校区 「小中一貫教育」

名張市立蔵持小学校

蔵持小学校、桔梗が丘小学校、桔梗が丘南小学校、桔梗が丘東小学校、桔梗が丘中学校では「なかまとともに主体的に学び、活動する子ども」を共通した目指す子ども像とし、義務教育9年間を視野に入れた系統的、継続的な指導を行っています。

名張市立桔梗が丘中学校区 小中一貫教育 グランドデザイン

名張市の小中一貫教育

- ・確かな学力向上・体力の向上
- ・人間関係力の向上
- ・いじめ防止と不登校の解消
- ・ふるさとを愛する心の醸成
- ・英語力の向上

《小中一貫教育の基本方針》

- ・系統的・連続的な指導を9年間のスパンで組織的に展開し、小・中学校の円滑な接続を目指す。
- ・小中の教職員および小中の児童・生徒間の交流や体験活動を通して、豊かな人間性や社会性を育成する。
- ・地域と協働し、子どもたちの9年間の育ちを支援し、人とのつながりを強める。

【小中一貫教育の目標】

「心豊かで主体的に生きる児童・生徒の育成」

【目指す子ども像】

「なかまとともに主体的に学び、活動する子ども」

《桔梗が丘中学校区》

桔梗が丘中学校
蔵持小学校
桔梗が丘小学校
桔梗が丘南小学校
桔梗が丘東小学校

《桔梗が丘中学校区の課題》

- ・時間や家庭学習など基本的な生活習慣はある程度定着しており、指示されたり決められたことはできるが、自ら考え行動する力が弱い。
- ・基本的な知識・技能は習得しているものの、それらを活用したり他と関わったりしながら更に追求していく姿は不十分である。



主体的・対話的で深い学び

段階	導入期 前期				成長期 後期				成熟期 めざす姿
	1	2	3	4	5	6	7	8	
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学力・体力	資質・能力① 主体的に学ぶ態度 ・授業における望ましい学習習慣を身に付ける。 ・積極的に学習内容に関わっていかうとする態度を身に付ける。				課題に対して根気強く追究しようとする態度を身に付ける。 ・他者の考えをしっかりと聞き、自己の考え方や追究に生かそうとする。				自ら問題意識を持ち、それを粘り強く解決しようとする態度を身に付ける。
	資質・能力② 知識・技能 思考力 判断力 表現力 ・繰り返しの学習を通して、基礎・基本を身に付ける。 ・考えを自分の言葉で表現できる。				身につけた基礎・基本を活用したり、必要な情報を整理し関連づけたりして、課題を解決しようとする力を身に付ける。 ・問題解決の過程や結果について、自分の言葉で表現できる。				新たな問題を発見し、見通しを持って追究を続けていく力を身に付ける。
人間関係力	社会的資質 ・人と積極的に関わろうとする態度を身に付ける。 ・社会のルールやマナーを知り、守っていかうとする。				コミュニケーション力・プレゼンテーション力・リーダーシップを身に付ける。 ・社会のルールやマナーの重要性を理解し、規範意識を高める。				なかまと協働し、誰もが生きやすい社会を築こうとする態度を身に付ける。
	人権意識 ・自己有用感を感じる。 ・お互いを認め、尊重しようとする気持ちを持つ。				自尊感情を高める。 ・自身の行為に責任を持ち、自分の身の周りの差別をなくすために自分ができることを考え、行動できる力を身に付ける。 ・相手の思いを受け止める。				自由と平等の実現のために、自分や自分たちができることを考え、実行する力を身に付ける。
未来創造力	なばり学 ・自分たちの住んでいる市について興味を持つ。 ・自分たちの住んでいる市について知る。				地域の人々の思いに触れ、その歴史や伝統の重みを感じる。 ・ふるさとや職業、生き方について誇りを持つ考え方に共感する。				社会の一員としての自覚を高め、自ら地域や周囲に貢献しようとする態度を身に付ける。
	キャリア学習 ・周囲のことに幅広く興味・関心を持つ。 ・自分の周りには様々な仕事(職業)があることや社会の中の一ひとりの役割について学ぶ。				自分の個性・適性について考えを深める。 ・自分の進路や生き方について目標を持ち、それに向かって努力する。				自らの進路を決定し、社会的職業の自律に向け、学び続ける態度を身に付ける。

社会に開かれた学校の実現

学校・家庭・地域と連携した取組	・授業参観 ・出前授業	学び
	・あいさつ運動	心豊かに
	・地域学習 ・職場体験活動	社会を拓く

学校研究・研修部会

授業規律が確立された中での主体的な学び

基礎・基本の定着と活用力を駆使する学び

生徒指導・人権教育部会

人間関係を広げる体験
身の周りや社会への貢献

総合学習・キャリア教育部会

地域の人との出会い
職業や生き方についての学習

効果的なカリキュラムマネジメント

9年間の系統的なカリキュラム

(国語 算数・数学 体育)

9年間の共通した教科テーマを掲げ、同じ視点で学習をすすめます。



自分の考えを表現

できるように・・・

共通の
教科テーマ



「投げる」動きからボールに親し
みを持ち、ボール操作に慣れるよ
うに・・・



教科テーマに沿った研究授業

段階		導入期				成長期			成熟期			
		前期				後期			めざす姿			
学年		1	2	3	4	5	6	7	8	9		
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
学力・体力	実質・能力の 知識・技能 思考力 判断力 表現力	・繰り返し学習を通して、基礎・基本を身につける。 ・考えを自分の言葉で表現できる。				・身につけた基礎・基本を活用したり、必要な情報を整理し関連づけたりして、課題を解決しようとする力を身につける。 ・問題解決の過程や結果を、自分の言葉で表現できる。			・新たな問題を発見し、見通しを持って追究を続けていく力を身につける。			
		論理的な構成で自分の考えを表現（記述）する力										
	国語	・経験したことや想像したことなどを事柄の順序に沿って、語と語の続き方に注意しながら内容のまとまりがわかるように文章を書くことができる。				・相手や目的を意識したり、書く内容の中心を明確にしたりして、自分の考えとそれを支える理由との関係に気をつけて文章を書くことができる。また、段落の役割について理解し、場合に応じて語尾に注意しながら書くことができる。		・目的や意図に応じて書くことを選び、文章全体の構成や展開を考えて書くことができる。また、本やインターネットの引用、図表やグラフなどを用いて、事実を感想、意見と区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書くことができる。		・目的や意図に応じて書く内容を考えて、その内容の中心と根拠を明確にし、段落の役割などを考えて、まとまりのある文章を書くことができる。		・論理の展開が、客観性・論理性を持ち、読み手にわかりやすい説得力のある全体が整った文章を書くことができる。
		数学的な表現を用いて「なぜか」を説明する力										
	算数 数学	・具体物、図、数、式などを用いて問題解決の過程や結果を表現することができる。				・問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合うことができる。		・問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて根拠をはっきりさせながら数学的に表現し伝え合うことができる。		・言葉や数、式、図、表、グラフ等の数学的な表現を用いて、「なぜそう考えたのか」について、簡潔・明瞭・的確に伝え合うことができる。		・既習の知識・技能を関連付けながら、論理的・統合的に考え、「なぜそう考えたのか」を事象の本質に触れながら表現することができる。
体育	ボール運動・球技を通して培う運動技能とチームプレイの工夫											

国語

9年間通して、正しい
語句や表現方法で論
理的な文を書ける

算数・数学

9年間通して、問題を
解くだけでなく、その
理由も説明できる

体育

9年間通して、球技に
視点を当て、必要な技
能・体力、戦略を工夫
する力

9年間の合言葉 勉強の「かきくけこ」

ききょうがおかちゅうがっこうく べんきょう
 桔梗が丘中学校区 「勉強の『かきくけこ』」

「か」…かながえよう(まずは自分で考えよう)

「き」…きょうりよくしやう(みんなで一緒に学ぼう)

「く」…くふうしやう(勉強の仕方やノートの書き方)

「け」…けじめをつけよう(気持ちの切り替え・時間を守る・姿勢を正す)

「こ」…ことばをかわそう(発表や話し合いを積極的にしよう)



「協力しよう！」

(みんなで一緒に学ぼう)



「言葉をかわそう！」

(話し合いを積極的にしよう)

「TEA TIME」

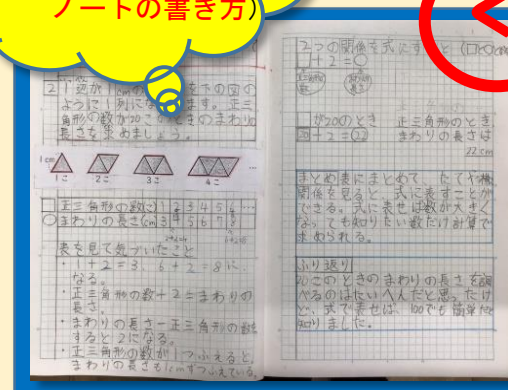


Take English in Advance (「TEA TIME」) = 英語を先取りする

毎週、中学校の先生による英語の授業があります。

「工夫しよう！」

(勉強の仕方や
ノートの書き方)



小中「オンライン交流」



中学校生活の様子を直接知ることができます。

小学校から
中学校への接続

教職員
 桔梗中校区
 「小中一貫合同研修会」



桔梗中校区の小・中学校のすべての教員が集まり、「グループ別協議」や「教科別協議」を行い、取組の確認や共有化を図ります。